

あざなえる縄のごとく、
intertwined like twisted cords

KUNST ARZT では、初となる藤村明日香の個展を開催します。藤村明日香は、淡く優しい色彩の画面に、線が実体化したような刺繍を施した絵画を生み出すアーティストです。アクリル絵の具で描かれた部分と縫い付けられた糸が対比やリズムを生み、独特の抽象世界が立ち現れます。本展は、メインルームに大小様々なキャンバスを不規則に並べ、サブルームには、同じサイズの複数のキャンバスを糸で繋いでひとつにした作品からの構想です。

(KUNST ARZT 岡本光博)



モザイク (細部)

2024

727×500mm

アクリル絵の具、油絵の具、刺繍糸、毛糸

経歴

- 1999年 大阪府生まれ
2022年 京都精華大学芸術学部造形学科テキスタイル専攻 卒業
2024年 京都精華大学芸術研究科博士前期課程芸術専攻染織領域 修了

個展

- 2021年 「あしたのかおり」(恵文社ギャラリーアンフェール/京都)
2022年 「凧の時間」(GALLERY Ann/京都)
2023年 「とむらい、ほうむる」(ギャラリーマロニエ4階/京都)
2024年 「おもかげ」(ギャラリー恵風/京都)

グループ展

- 2021年 「昨夜の香り」(松栄堂薫習館/京都)
2022年 「縫いアート展 2022」(ギャラリーマロニエ5階/京都)
2023年 「縫いアート展 2023」(ギャラリーマロニエ5階/京都)
2024年 「昧」(同時代ギャラリー/京都)
2024年 「A-LAB Artist Gate'24」(A-LAB/兵庫)

2024年 11月 26日 (火) から 12月 1日 (日)

12:00 から 18:00

会 場 : KUNST ARZT

605-0033 京都市東山区夷町 155-7 2F

問い合わせ



KUNST ARZT 代表 岡本光博

090-9697-3786

kunstarzt@gmail.com

アーティスト・ステートメント

主にアクリル絵の具で着彩し、刺繍を施した絵画作品を制作しています。柔らかく広がりのある色彩と緊張感のある繊細な刺繍、2つの異なる要素を掛け合わせることで新たな絵画の可能性を模索しています。いつも自身の死生観や心象風景からインスピレーションを得て、明確なコンセプトのもと抽象的なモチーフを描いています。

展覧会コンセプト

「禍福はあざなえる縄の如し」という言葉がある。この世の幸不幸はより合わせた1本の縄の表裏のように交互に来るものであり、人の知恵で計り知ることはできないという意味だ。良いこともあれば悪いこともある。止まない雨はないし、毎年大吉もありえない。

小さい頃 旅行が大好きで、その反面たまらなく苦手だった。楽しみにすればするほど、終わった後が辛くなると知ったからだ。旅行に着ていく服を選びながら泣いていた記憶がある。あの頃の私にとって日常と非日常は明確に違って、幸と不幸は決して混在しなかった。だけど今はもう旅先での不幸にも落胆しないし、なんでもない日常の幸をまるで旅の思い出かのように噛み締めることもできる。静かな旅、にぎやかな日常、悲しいけど嬉しい、楽しいけど苦しい、孤独はお守りで、愛は時に執着で、どうしようもない私とかげがえのない私は共存している。

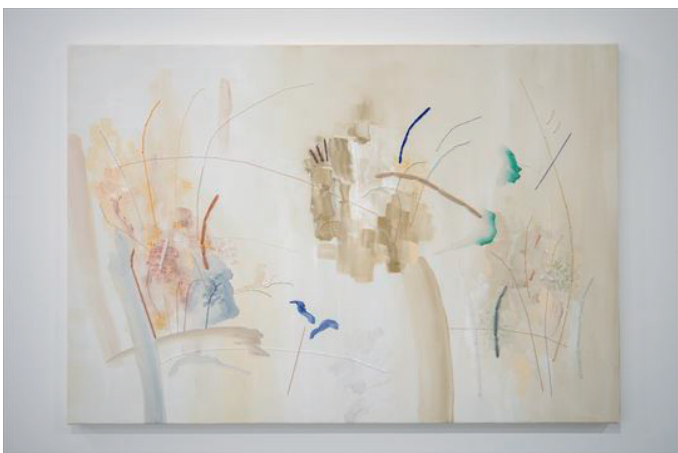
本展ではそんな“あざなえる縄のごとき日々”をテーマに制作した作品群を展示する。人生なんて予測不能だし、自論は矛盾だらけだし、感情は虹色だけど、それでいい。そんな自分を嫌いでもいい好きでもいい。どっちかわからなくてもいい。とびきり特別でしょうもない人生を最期まで全力で生き抜けられたら。



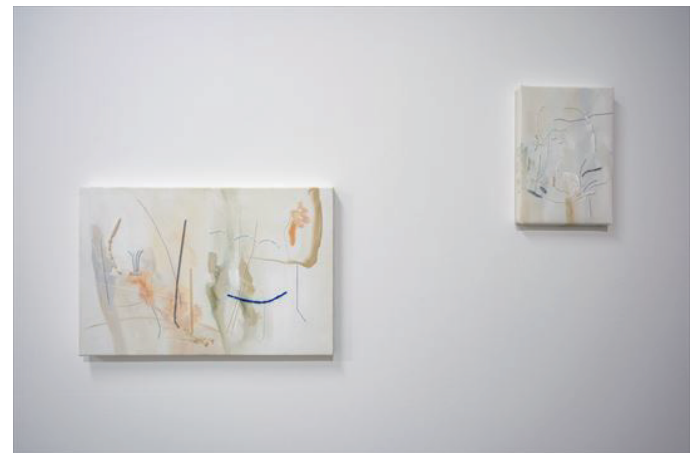
BIRTH DAY2
2022
アクリル絵の具,刺繍糸,毛糸,タコ糸,針金



ボローニャ 赤い街
2024
アクリル絵の具,油絵の具,刺繍糸,毛糸



モザイク
2024
アクリル絵の具,油絵の具,刺繍糸,毛糸



Casa Morandi (画像左) 2024 アクリル絵の具,刺繍糸,毛糸
糸宝探し (画像右) 2024 アクリル絵の具,刺繍糸,毛糸